

**大阪北部地震で被害を受けた日本民家集落博物館に  
東日本大震災の応急仮設住宅を移築し利用するため**

**寄付金を募集します！**

日本民家集落博物館（豊中市服部緑地1番2号）では、大阪北部地震により、事務棟として使用している「河内布施の長屋門」（塩川正十郎元財務大臣家から移築）が傾く被害を受けました。そこで、東日本大震災の応急仮設住宅として2011年に福島県いわき市に建設され、2018年3月にその役目を終えた板倉住宅の再利用を福島県に申請し、このたび1棟の譲渡を受けることが決定しました。

同博物館を運営する公益財団法人大阪府文化財センター（堺市南区竹城台3丁21番4号）では、応急仮設住宅の解体・運搬・再建築に1,000万円程度を要することから、10月1日より寄付金の受付を開始します。

□ 日本民家集落博物館での利用について

日本民家集落博物館は、昭和31年設立の日本で最初の本格的な野外博物館です。岐阜県白川村でダムに沈む民家を移築し保存することから始まりました。その後も全国各地で消えゆくかんとしている民家を移築し、現在、国指定重要文化財3棟、国指定重要有形民俗文化財1棟、国登録有形文化財建造物3棟、大阪府指定有形文化財4棟、大阪府指定有形民俗文化財1棟、などを有しています。

今回譲渡を受ける応急仮設住宅は、当博物館で展示の民家と時代は異なりますが、日本古来の板倉構法によるものであることから、現在の博物館の景観に馴染むものです。また、博物館で再利用することにより震災の記憶を後世に伝えてゆくということは、これまでに全国各地の民家を移築展示してきたその目的と共通するものがあります。当博物館では、移築した応急仮設住宅を事務棟として利用していきます。

□ 寄付の方法

期 間 : 平成30年10月1日から平成31年3月10日まで

金 額 : 1口1,000円から

対象者 : どなたでも

方 法 : 振込 もしくは 博物館受付に持参

その他 : 3口以上ご寄付いただいた方のうちご希望される方には、事務棟（移築後の仮設住宅）にお名前を掲出させていただきます。

詳しくはこちらをご覧ください <http://www.occh.or.jp/>

□ 法人概要

法人名 : 公益財団法人大阪府文化財センター

代表者 : 理事長 田邊 征夫（たなべ いくお）

所在地 : 〒590-0105 大阪府堺市南区竹城台3丁21番4号

設 立 : 昭和47年11月

事業内容 : 文化財の調査研究ならびに博物館の管理運営

U R L : <http://www.occh.or.jp/>

□ 本件に関するお問い合わせ先

担当者 : 公益財団法人大阪府文化財センター 総務企画課副主査 新田 康博

T E L : 072-299-8791

E mail : [nitta@occh.or.jp](mailto:nitta@occh.or.jp)（新田）

◆寄付金の振込先

銀行名 : ゆうちょ銀行  
口座記号番号 : 00930-6-093230  
口座名義 : 公益財団法人大阪府文化財センター  
フリガナ : ザイ) オオサカフブンカザイセンター

※振込手数料当方負担の振込用紙を用意しております。

ご入用の場合は、電話 072-299-8791 FAX072-299-8905 でご連絡ください。

当法人へのご寄付は、所得税法第 78 条該当の寄付金控除の対象になります。  
控除申請（確定申告）に必要な領収書をご希望の場合は、通信欄にご住所とお名前、  
ご連絡先電話番号をご記入のうえお振込みください。

スケジュール

平成30年 7月 板倉構法による応急仮設住宅の再利用について、日本板倉建築協会に相談。

8月 「いわき市高久第十応急仮設住宅」（木造2階建て・延べ床面積69.4平米・2戸1棟）1棟の譲渡を申請

8月22日 譲渡決定

10月 移築にかかる運搬費や建設費として寄付金募集を開始

12月中旬 譲渡を受ける棟が福島県いわき市を出発  
大阪府豊中市の日本民家集落博物館に到着

平成31年 1月 日本民家集落博物館において移築場所の基礎工事を開始  
建築開始

3月中旬 完成

4月 日本民家集落博物館事務棟として利用開始

---

いわき市応急仮設住宅 建築概要

構造規模 : 木造2階建て  
Aタイプ 21坪（3戸1棟）  
Bタイプ 21坪（2戸1棟）  
Cタイプ 24坪（2戸1棟）

設 計 : 安藤邦廣+株式会社里山建築研究所（茨城県つくば市）  
施 工 : 佐久間建設工業株式会社（福島県大沼郡三島町）  
木 材 : 那賀川すぎ共販協同組合





# 日本民家集落博物館

大阪府豊中市服部緑地1番2号

日本民家集落博物館は、日本各地の代表的な民家を移築復元し、関連民具と合わせて展示する野外博物館です。大阪府豊中市の服部緑地の一角、約3万6千平米の敷地内に、北は岩手・南部の曲家から南は鹿児島・奄美大島の高倉まで12棟の民家を集めています。各民家とも江戸時代（17～19世紀）の建築で、地方固有の風土・習慣から生まれる様式を色濃く残しています。そこには、土地の自然を活かし、調和しながら生活を営んでいた人びとの知恵が随所にうかがえます。

